

madame

# FIGARO

フィガロジャポン

japo

2006 NO

5/50

## 今日から、 モードもインテリアもレトロ気分 ヴィンテージ・マナー。

知的冒険へ誘う、映画・本・音楽  
ゴールデンウィークは  
どっぷりカルチャー三昧  
短くなければはきたくない!  
パンツスタイルは進化

クラシックが美しい、  
ラルフ・ローレンは永遠。

本気のキレイを目指して、  
ホリスティック美容ライフ。

世界初! カルティエの  
現代アート展がやってくる。



とじ込み付録

美食・美肌・美品の楽園へ行く

おしゃれでおいしい、  
パワーアップ香港。

右:昔の大きな旅行用トランクは部屋のインテリアとして、またはタンス代わりに使ってもいい。下:リクエストによってモダンにリメイクオーダーも可能。



世界にひとつしかないレアものが集合。

### ベルナルディーニ

船旅を楽しんでいた頃のお金持ちの特注品が揃うラグジュアリーなヴィンテージショップ。グッチ、エルメス、ヴィトンなどの老舗メゾンが顧客の多様なリクエストに沿って当時作ったイニシャル入りトランクやシルバー製のボトルキャップ、洗面用具などの小物ケースなどの贅沢品はまさに1点もの。ほとんどの商品は男性用に作られたが、現在は女性の使用が多いという。時計も多種類揃い、最近では懐中時計に人気が集まっているとか。

### Bernardini

via Caradosso 2 Milano ☎ 39・02・4818697  
 営業15時30分~19時30分(月) 10時30分~13時、  
 15時30分~19時30分(火~土) 休日 www.bernardinimilano.com

大きな形が流行っていた70年代のサングラス。オレンジ色のはイヴ・サンローランのもの。50ユーロ



イタリア唯一のヴィンテージサングラス屋。

### フォト・ヴェネタ

1930年創業のメガネショップを受け継いだオーナー、ジョルジョ氏はイタリア一番の眼鏡コレクターでもある。閉店する店の在庫をすべてひきとり、工場からはデッドストックを買ったり、種類やメーカーを選ばず数を増やしてきた。70年代からの眼鏡とサングラスが揃い、その数約1万個。棚の中にも商品があるので、好みを伝えて見せてもらおう。建物の2階なので看板を目印に。

### Foto Veneta

via Torino 57 Milano ☎ 39・02・8055735  
 営業9時~12時30分、15時~19時20分 休日



左:おもしろい小物も種類が豊富。左下:シチリアのアーティストが書いたフルーツ盛皿70ユーロとドイツ製ザエベルのもの入れ60ユーロ 下:広い店内では、若いアーティストの展示会なども行われる。



運河沿いにある、通がうなるセレクト。  
**マウロ・ボロニエゼ**

北欧、ドイツ製の木を使った照明器具とローゼンタール地方のシンプルな白い花瓶ならこことヴィンテージファンには知られているが、ほかにもジョボンティやフォルナゼッティ、カステリオーネなどのイタリアデザイナーのものや、無名デザイナーのテーブル、ソファ、陶器なども数多く揃っている。とにかく50~80年代の気に入ったもののみを集め、モデルナリアートも一部扱う。ナビリオ運河を挟んだ対面にも小さなショップがあるので、ぜひのぞいて。

テーラーメイドのワンピースやドレスが得意!

### レルンス・ストラシェ

天井までぎっしり商品が詰まった店内は、商品をかき分けながら掘り出しものを探したい。マルタとサイーダの2人のセレクトは有名ブランド品よりも、1点もののテーラーメイドが多い。80年代までのヨーロッパの舞台衣装や

当時のマダムが作らせたスーツやワンピース、ドレスが豊富。舞台で使った個人的なアクセサリからクロコのクラッチバッグなどの今年人気のアイテムまで、小物もたくさん。入り口が狭いので見逃さないで。

下:スカート140ユーロとワンピース160ユーロ  
 右:靴はブランドや状態によって30~120ユーロ。週に一度商品が入荷するのうれしい。



### Reruns Strasse

Ripa di Porta Ticinese 21 Milano  
 ☎ 39・02・8373937  
 営業16時~19時30分(月) 11時~14時、  
 16時~20時(火~土) 休日

## VINTAGE BREAK!

右:6月よりハロウィンも人気。ランチもおすすめ。右:新しい味のリンゴタルトとヨーロースパイのメニューは替わりで。



ゆったりコーヒータイムを過ごしたい時に最適。

### モノ

以前は50年代創業のコーヒーと豆専門店だったのを現在のバルに改装。床や壁、カウンターなどの大きなパーツは当時のインテリアを残し、テーブル、照明、椅子、グラスなどはアムステルダムで見つけてきた60~70年もの。店内はいつもオーナー自らがファンの60年代イギリス系ミュージックがかかっている。

### Mono

via Lecco6 Milano  
 ☎ 39・347・443422 (携帯)  
 営業7時30分~22時 無休